

水道だより

私たちの暮らしの中の水道 vol.13

令和3年8月16日発行
上下水道管理課

☎237-5811 FAX237-5819

身近にある水道について知っていただくために、水道事業の現状・課題・経営状況をシリーズでお伝えしています。今回は水道事業の経営状況について見ていきます。

市町村合併から今の料金体系になるまで



津市の水道料金は、平成18年1月の市町村合併の際に、10市町村の中で最も低額であった旧津市の料金体系を採用したんだ。その後、実質的な料金改定を1度だけ行い、今の料金体系になっているんだよ。



1番安い旧津市の料金体系を選択したのに、料金改定は1度だけで10年以上も経営を維持してがんばってきたんだね。

合併前の各市町村の料金体系



今の料金体系になるまで

平成18年1月
最も低額であった旧津市の料金体系を採用

平成20年4月
平均19.67%増額改定

※消費税等相当額分は平成26年4月と令和元年10月に改定



そうなんだ。これまで水道料金を安く維持してきたから、県内14市では3番目に低額なんだよ。だけど、これからは人口減少による料金収入の減少も予測されるから、これまでのように低料金を維持することが難しくなってきたんだよ。

三重県下14市の水道料金(令和3年4月1日現在)



経営改善・経営努力



市内には、水道管(約2,500km)や浄水場などたくさんの水道施設があるんだけど、壊れないように維持管理をしていかないといけないよね。市町村合併後も水道施設は増えているけれど、さまざまな経営改善や経営努力で、維持管理にかかる費用を合併時とほぼ同じ金額に抑えてきたんだよ。



いろいろな工夫をして経営してきたんだね。このまま経営を続けていけるの？

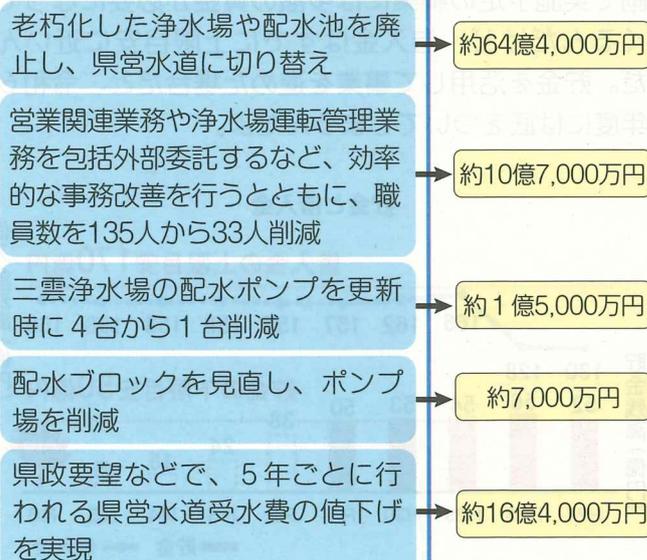


老朽化した水道管による漏水や水の濁りが増えてきていて、これらは利用者の皆さんに迷惑を掛けるだけでなく、作った水を無駄にすることになるから、経営面でも深刻な問題なんだ。今後は高度経済成長期に整備された水道管や浄水場など水道施設の老朽化が一斉に進行してくるから、これまでのように経営改善や経営努力を続けていても支出を抑え

ることが難しくなってくるんだ。

主な経営改善・経営努力

削減額



負のスパイラルを断ち切る

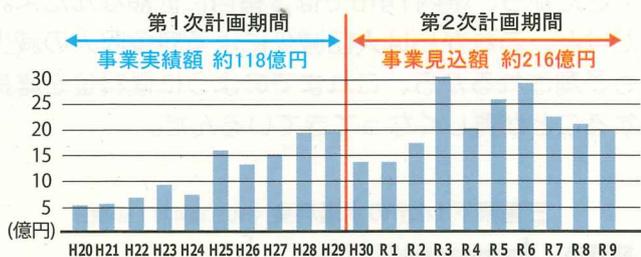


下のグラフは各計画期間における投資額を表したものだ。第2次津市水道事業基本計画(第2次計画)では、津市水道事業基本計画(第1次計画)の約2倍となる総額約216億円の建設改良事業を計画しているよ。



なぜ第2次計画では投資額が多くなったの？

投資額(建設改良費)の推移



第2次計画では古くなった水道施設の更新事業を迅速かつ着実に進めていくために、これまでよりも投資額を増やして対応していくんだ。老朽化の進行で漏水などが多くなると、下図のように負のスパイラルに陥ってしまうよ。これを断ち切るために更新事業を進めていくことは、水道水の安定供給にとって非常に重要なんだよ。



安全・安心な水道を将来世代に



安全・安心な水道事業を続けるため、第2次計画では令和3年度の料金改定を前提として、貯金は約50億円を下限目安に、借入金は170億円を上限目安としたんだ。



令和3年度の料金改定を見送ったけど、これからの経営はどうなるの？



料金改定をしないままだと、必要な建設改良事業を計画どおり行っていくための資金が確保できないんだ。老朽化対策や施設耐震化など、第2次計画で実施予定の事業には多額の資金が必要になってくるんだけど、借入金はすでに上限目安に近いんだ。貯金を活用して事業を進めた場合だと、令和6年度には底をついてしまうんだよ。

貯金と借入金



水道事業を続けていくためには料金改定をするしかないの？



料金改定をせずに水道事業を続けていくためには、管路の更新事業を減らすか、借入金を増やすしかないんだ。



それじゃいけないの？



管路の更新事業を減らした場合は、老朽管がさらに増えてしまって、安全・安心な水道水の供給に影響があるんだ。借入金を増やす場合も、増えた借金は将来世代が負担することになるんだ。



それじゃ困るね。



更新事業を着実に進め、安全・安心な水道水を将来にわたって安定的に供給することが重要だから、そのために料金改定を行う必要があるんだ。

今の水道を維持することはもちろん、50年先、100年先の世代まで安定して水道水を届け続けるのは、今を生きる私たちの責任です。